

## ○広島国際大学総合リハビリテーション学部履修規定

2013年3月6日

広学内049

改正 2015年2月3日

### 第1章 総則

#### (趣旨)

**第1条** この規定は、広島国際大学総合リハビリテーション学部の授業科目の履修方法等について定める。

#### (授業科目の分類、配当年次・学期および時間数)

**第2条** 授業科目の分類は、卒業要件との関連で必修科目および選択科目(選択必修科目を含む)とする。

2 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数は、別表第1のとおりとする。

#### (学科、専攻および定員)

**第2条の2** 本学部の学科、専攻および定員は、つぎのとおりとする。

学科	専攻	定員
リハビリテーション学科	理学療法学専攻	60名
	作業療法学専攻	40名
	言語聴覚療法学専攻	30名
	計	130名
リハビリテーション支援学科	義肢装具学専攻	30名
	計	30名

#### (履修方法)

**第3条** 授業科目は、学科別に定めるところにより履修しなければならない。

#### (他大学および他学部等における授業科目の履修ならびにその取扱い)

**第4条** 教育上有益と認めるときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校(専攻科)における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前2項の規定により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を限度として卒業の要件として認めることができる。

4 教育上有益と認めるときは、学部間の協議に基づき、学長は、学生に他学部の科目を履修させることができる。修得した単位については前項に準じる。

#### (卒業に必要な単位数)

**第5条** 卒業に必要な単位数は、学科別に次表のとおりとする。

科目区分				リハビリテーション学科								リハビリテーション支援学科		
				理学療法学専攻			作業療法学専攻			言語聴覚療法学専攻		義肢装具学専攻		
				必修	選択		必修	選択		必修	選択	必修	選択	
共通教育科目	教養科目	国際	国際社会の理解	—	2	1*1	—	2	1*3	—	2	—	2	1*1
			学際	人間と思想・文化	—	4	—	4	—	4	—	4	—	4
		人間と現代社会		—		—		—		—		—		
		人間と科学・技術		—		—		—		—		—		
	基礎教育科目	共通基礎	人文科学	—	2	—	2	—	4	—	2			
			社会科学	—	2	—	2	—	4	—	2			
			自然科学	—	2	—	2	—	4*5	—	2			
		情報処理	2		2		2		2		2			
		外国語	4		4		4		4		4			
		保健体育	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		特講	1		1		1		1		1			
	計				8	14		8	14		8	19	8	14
					22単位以上			22単位以上			27単位以上		22単位以上	
	専門教育科目	専門基礎分野			38			38			39	11*6	47	7
		専門分野			63	5*2		67	5*4		56		54	
専門総合分野			4			4			4		4			
計				105	5		109	5		99	11	105	7	
				110単位以上			114単位以上			110単位以上		112単位以上		
卒業必要単位数				113	19		117	19		107	30	113	21	
				132単位以上			136単位以上			137単位以上		134単位以上		

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

- \*1：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から1単位以上を修得すること。
- \*2：『専門分野』地域理学療法学の科目区分のうち、「福祉機器適用論」、「ヘルスプロモーション論」、「公衆衛生学」のいずれか1科目を含む、『専門分野』『専門総合分野』から5単位を修得すること。

#### 作業療法学専攻

- \*3：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から1単位以上を修得すること。
- \*4：『専門分野』地域作業療法学の科目区分のうち、「心身障害児療育論」、「公衆衛生学」、「ヘルスプロモーション論」のいずれか1科目を含む、『専門分野』『専門総合分野』から5単位を修得すること。

#### 言語聴覚療法学専攻

- \*5：「統計学(2単位)」を含む4単位を修得すること。
- \*6：『専門基礎分野』心理学の科目区分のうち、「認知心理学」、「拡大・代替コミュニケーション論」、社会福祉・教育の科目区分のうち、「保健医療福祉論」、「生命倫理」、『専門分野』障害学総論の科目区分のうち、「高次脳機能障害学」を含む、『専門基礎分野』『専門分野』から11単位を修得すること。

#### リハビリテーション支援学科

#### 義肢装具学専攻

- \*1：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から1単位以上を修得すること。

### 第2章 履修申請

#### (履修許可)

**第6条** 学生は、その年度に履修しようとする授業科目を履修申請書により学部長に申請して許可を得なければならない。

#### (履修申請)

**第7条** 履修申請書は、毎年学部長が定める期間および申請要領に従って、提出しなければならない。

- 2 正当な理由がなく、所定の期間内に履修申請書を提出しない者は、履修を許可しない。
- 3 既に合格または単位を認定した授業科目を再度履修することはできない。
- 4 同時限に重複して履修することはできない。
- 5 前項にかかわらず、新たに履修する科目と前年度不合格科目とが重複する場合、前年度不合格の必修および選択必修科目(成績評価Dの科目に限る)について3科目以内は、再受験科目として重複申請することができる。ただし、実験・実習・演習科目を除く。
- 6 授業科目によっては、その内容との関連において別に定める授業科目(以下「先修科目」という)の単位を前もって修得し、または同時に履修していなければ、当該科目の履修を許可しないことがある。
- 7 先修科目については、別表第2に定める。

#### (履修単位の上限)

**第7条の2** 1年間に履修申請できる単位数は、52単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目および再受験科目として申請している科目を除く。

- 2 所定の単位数を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
- 3 第1項にかかわらず、編入学した者および学部長が特に許可した者はこの限りでない。

#### (履修申請科目の変更等)

**第8条** 履修申請書の提出後は、授業時間割の変更の場合を除いて、原則として追加、訂正および変更を認

めない。

(履修許可の取消し)

**第9条** 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

**第9条の2** 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

2 履修辞退の手法方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

### 第3章 成績評価および試験

(成績評価等)

**第10条** 成績の評価は学則第26条に定めるところにより、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2 成績はS・A・B・C・D・E・\*の7種の評語をもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。また、それぞれのグレードポイント(以下「GP」という)はつぎのとおりとする。ただし、再試験で合格の場合にはすべてCの評語とする。

「S」：100～90点(GP：4)

「A」：89～80点(GP：3)

「B」：79～70点(GP：2)

「C」：69～60点(GP：1)

「D」：59～30点(GP：0)

「E」：29～0点(GP：0)

「\*」：評価不能

3 成績評価S、A、B、Cを合格とし、所定の単位を与える。

4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、「認」と表示する。また、再入学および転学部等で単位を認定した科目の評価は、学部長が別に定める。

5 単に合格または不合格をもって示す授業科目は、当該科目が合格の場合は「G」、不合格の場合は「F」と表示する。

6 第2項の成績評価による学業結果を有効利用するために、グレードポイントアベレージ(以下「GPA」という)を用いる。

7 前項に定めるGPAは、各履修科目の単位数にGPを乗じた積の合計を、総履修単位数で除して算出する。

8 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。

イ 卒業要件に含むことができない授業科目

ロ 評価を「認」、「G」、「F」で表示する授業科目

ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもって計算対象とする)

ニ その他別に定める授業科目

(試験の方法等)

**第11条** 試験は履修許可を得た科目についてのみ受けることができるものとする。

2 試験は、当該科目の授業期間中に担当教員が随時行うものとする。

3 試験の方法は、筆記、口頭試験および実技とする。

4 教育上必要な場合は、追試験および再試験を実施することがある。

- 5 追試験は、病気その他やむを得ない理由により受験できなかった者に対して行う試験をいう。
- 6 再試験は、日常の学修状況が良好であるにもかかわらず、成績が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。ただし、実験・実習・演習科目は除く。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

**第12条** 前条第5項の追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

- 2 再試験が受けられる授業科目数は、学部長が別に定める。
- 3 追試験および再試験の申請要領ならびに実施要領は、学部長が別に定める。

#### 第4章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

**第13条** 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業出席の義務)

**第14条** 学生は、履修許可を受けたすべての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

**第15条** 授業は、2時間を1時限として、つぎのとおりとする。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50

#### 第5章 卒業研究

(卒業研究着手の要件)

**第16条** 第4年次に配当した授業科目のうち、「卒業研究」を履修するためには、つぎの要件を充足していなければならない。

イ リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

共通教育科目	必修科目8単位および各科目区分で必要な選択科目を含め、22単位以上修得
専門教育科目	必修科目74単位以上修得

② 作業療法学専攻

共通教育科目	必修科目8単位および各科目区分で必要な選択科目を含め、22単位以上修得
専門教育科目	必修科目74単位以上修得

③ 言語聴覚療法学専攻

共通教育科目	必修科目8単位および各科目区分で必要な選択科目を含め、27単位以上修得
専門教育科目	必修科目74単位以上修得

□ リハビリテーション支援学科  
義肢装具学専攻

共通教育科目	必修科目6単位以上および選択科目10単位以上を含め、計16単位以上修得
専門教育科目	必修科目76単位以上修得

2 前項にかかわらず、学部長が特に認めた者はこの限りでない。

**第6章 雑則**

(その他)

**第17条** この規定に定めるもののほか、授業科目の履修等に関して必要な事項は、学部長が定める。

(規定の改廃)

**第18条** この規定の改廃は、学部長会議および教授会の議を経て、学長が行う。

**付 則**

- 1 この規定は、2013年4月1日から施行する。
- 2 この改正規定は、2015年4月1日から施行する。
- 3 2014年度以前の入学者の履修については、なお従前の例による。

**別表第1 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数**

1 共通教育科目  
注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を( )で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- 3 教養科目は1年次または2年次で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目	国際社会の理解 I	2		(30)	(30)	(30)						
	国際社会の理解 II	2		(30)	(30)	(30)						
	国際社会の理解 III	2		(30)	(30)	(30)						

学際	人間と思想・文化	人間と思想・文化Ⅰ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
		人間と思想・文化Ⅱ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
		人間と思想・文化Ⅲ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
	人間と現代社会	人間と現代社会Ⅰ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
		人間と現代社会Ⅱ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
		人間と現代社会Ⅲ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
	人間と科学・技術	人間と科学・技術Ⅰ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
		人間と科学・技術Ⅱ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
		人間と科学・技術Ⅲ	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)						
基礎 教育 科目	共通 基礎	人文科学	哲学	2	(3 0)	(3 0)						
		文学	2	(3 0)	(3 0)							
		倫理学	2	(3 0)	(3 0)							
		心理学	2	(3 0)	(3 0)							
		日本語表現法	2	(3 0)	(3 0)							
		芸術学	2	(3 0)	(3 0)							
		文化人類学	2	(3 0)	(3 0)							
		コミュニケーション論	2	(3 0)	(3 0)							
	社会科学	法学	2	(3 0)	(3 0)							
経済学		2	(3 0)	(3 0)								

	社会学	2	(3 0)	(3 0)								
	歴史学	2	(3 0)	(3 0)								
	政治学	2	(3 0)	(3 0)								
	教育学	2	(3 0)	(3 0)								
自然科学	統計学	2	(3 0)	(3 0)								
	数学	2	(3 0)	(3 0)								
	物理学	2	(3 0)	(3 0)								
	物理学実験	1	(4 5)	(4 5)								
	化学	2	(3 0)	(3 0)								
	化学実験	1	(4 5)	(4 5)								
	生物学	2	(3 0)	(3 0)								
	生物学実験	1	(4 5)	(4 5)								
	情報処理	情報処理 I a	①	(3 0)	(3 0)							
		情報処理 I b	①	(3 0)	(3 0)							
情報処理 II		1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
情報処理 III		1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
情報処理 IV		1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
情報処理 V		1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
情報処理 VI		1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				



	情報倫理	1			(1 5)	(1 5)	(1 5)	(1 5)				
外国語	英語Ⅰa	①	30									
	英語Ⅰb	①		30								
	英語Ⅱa	①	30									
	英語Ⅱb	①		30								
	英語Ⅲa	1			30							
	英語Ⅲb	1				30						
	英語Ⅳa	1			30							
	英語Ⅳb	1				30						
	ドイツ語a	1	30									
	ドイツ語b	1		30								
	中国語a	1	30									
	中国語b	1		30								
	韓国語a	1	30									
	韓国語b	1		30								
保健体育	スポーツⅠ	①	(1 5)	(1 5)								
	スポーツⅡ	1	(3 0)	(3 0)								
	スポーツⅢ	1	(3 0)	(3 0)								
特講	基礎ゼミナール	①	30									
	Global Communication	2			(3 0)	(3 0)						

【留学生特例科目】

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎教育 共通 社会	日本事情Ⅰ	2	30										

科目	基礎科学	日本事情Ⅱ	2		30						
	外国語	日本語Ⅰa	2	30							
		日本語Ⅰb	2		30						
		日本語Ⅱ	2			30					

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、次に掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 共通教育科目の共通基礎社会科学の2単位までを「日本事情Ⅰ」の単位数
  - 2 共通教育科目の外国語の6単位までを「日本語Ⅰa」、「日本語Ⅰb」および「日本語Ⅱ」の単位数
- 2 専門教育科目

イ リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を( )で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	チュートリアル	①	30								
	解剖学Ⅰ	②	(30)	(30)							
	解剖学Ⅱ	②	(30)	(30)							
	解剖学実習	①	(45)	(45)							
	生理学Ⅰ	②	(30)	(30)							
	生理学Ⅱ	②			(30)	(30)					
	生理学実習	①			(45)	(45)					
	リハビリテーション運動学	②	(30)	(30)							
リハビリテーション運動学実習	①			(45)	(45)						

		病理学概論	②			(3 0)	(3 0)						
		人間発達学	②	(3 0)	(3 0)								
疾病 と障 害の 成り 立ち 及び 回復 過程 の促 進	医学概論	②	(3 0)	(3 0)									
	リハビリテーション 内科学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 内科学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 整形外科Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 整形外科Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 精神医学	②			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 脳神経学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 脳神経学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)							
	救急医学	②			(3 0)	(3 0)							
	発達障害学	②			(3 0)	(3 0)							
	保健 医療 福祉 とリ ハビ リテ ーシ ョ ン の 理 念	リハビリテーション 概論	②	(3 0)	(3 0)								
生命倫理		②	(3 0)	(3 0)									
リハビリテーション 心理学		2	(3 0)	(3 0)									
保健医療福祉論		2			(3 0)	(3 0)							
老年医学		②					(3 0)	(3 0)					
専門 分野	基礎 理学 療法 学	理学療法概論	②	(3 0)	(3 0)								
		理学療法研究法	②					(3 0)	(3 0)				

	理学療法管理運営学	②					(3 0)	(3 0)				
理学療法評価学	運動系機能能力評価学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)						
	運動系機能能力評価学実習Ⅰ	①			(4 5)	(4 5)						
	運動系機能能力評価学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)						
	運動系機能能力評価学実習Ⅱ	①			(4 5)	(4 5)						
	神経系機能能力評価学	①			(3 0)	(3 0)						
	小児機能能力評価学	①			(3 0)	(3 0)						
理学療法治療学	運動療法学概論	②			(3 0)	(3 0)						
	運動療法学演習	①			(3 0)	(3 0)						
	物理療法学	①			(3 0)	(3 0)						
	物理療法学実習	①			(4 5)	(4 5)						
	義肢装具学	①					(3 0)	(3 0)				
	義肢装具学演習	①					(3 0)	(3 0)				
	内部障害理学療法学	①					(3 0)	(3 0)				
	内部障害理学療法学実習	①					(4 5)	(4 5)				
	運動系機能障害理学療法学	①					(3 0)	(3 0)				
	運動系機能障害理学療法学実習	①					(4 5)	(4 5)				
	スポーツ障害理学療法学	①					(3 0)	(3 0)				
	スポーツ障害理学療法学演習	①					(3 0)	(3 0)				

	小児神経系理学療法学	①					(30)	(30)			
	小児神経系理学療法学実習	①					(45)	(45)			
	成人神経系理学療法学Ⅰ	①					(30)	(30)			
	成人神経系理学療法学実習Ⅰ	①					(45)	(45)			
	成人神経系理学療法学Ⅱ	①					(30)	(30)			
	成人神経系理学療法学実習Ⅱ	①					(45)	(45)			
	生活技術学	②			(30)	(30)					
	生活技術学実習	①			(45)	(45)					
	臨床運動学	②					(30)	(30)			
	臨床運動学実習	①					(45)	(45)			
	摂食・嚥下リハビリテーション学	①					(30)	(30)			
地域理学療法学	福祉機器適用論	2	(30)	(30)							
	地域理学療法学	①	(30)	(30)							
	地域理学療法学実習	①					(45)	(45)			
	ヘルスプロモーション論	2			(30)	(30)					
	公衆衛生学	1	(30)	(30)							
	心身障害児療育論	①					(30)	(30)			
臨床実習	臨床体験実習	①	45								
	臨床評価実習	③					(135)	(135)			
	総合臨床実習	⑭							(63)	(63)	

										0)	0)
		卒業研究	④							120	
専門 総合 分野	総合 技術	理学療法学演習	②							(6 0)	(6 0)
		理学療法特別講義Ⅰ	1				(3 0)	(3 0)			
		理学療法特別講義Ⅱ	1				(3 0)	(3 0)			
		医療英語	②			(3 0)	(3 0)				
		専門職連携演習	1				(3 0)	(3 0)	(3 0)		

② 作業療法学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を( )で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門 基礎 分野	チュートリアル	①	30									
	解剖学Ⅰ	②	(3 0)	(3 0)								
	解剖学Ⅱ	②	(3 0)	(3 0)								
	解剖学実習	①	(4 5)	(4 5)								
	生理学Ⅰ	②	(3 0)	(3 0)								
	生理学Ⅱ	②			(3 0)	(3 0)						
	生理学実習	①			(4 5)	(4 5)						
	リハビリテーション 運動学	②	(3 0)	(3 0)								
	リハビリテーション	①			(4	(4						

		運動学実習			5)	5)						
		病理学概論	②		(3 0)	(3 0)						
		人間発達学	②	(3 0)	(3 0)							
疾病 と障 害の 成り 立ち 及び 回復 過程 の促 進		医学概論	②	(3 0)	(3 0)							
		リハビリテーション 内科学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション 内科学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション 整形外科学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション 整形外科学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション 精神医学	②			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション 脳神経学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション 脳神経学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)					
		救急医学	②			(3 0)	(3 0)					
		発達障害学	②			(3 0)	(3 0)					
保健 医療 福祉 とリ ハビ リ テー ショ ンの 理念		リハビリテーション 概論	②	(3 0)	(3 0)							
		生命倫理	②	(3 0)	(3 0)							
		リハビリテーション 心理学	2	(3 0)	(3 0)							
		保健医療福祉論	2			(3 0)	(3 0)					
		老年医学	②					(3 0)	(3 0)			
専門 分野	基礎 作業 療法 学	作業療法概論	②	(3 0)	(3 0)							
		作業療法研究法	②					(3 0)	(3 0)			

							0)	0)				
	作業療法管理運営学	②					(3 0)	(3 0)				
作業 療法 評価 学	小児機能能力評価学	①			(3 0)	(3 0)						
	神経系機能能力評価学	①			(3 0)	(3 0)						
	運動系機能能力評価学	①			(3 0)	(3 0)						
	運動系機能能力評価学実習	①			(4 5)	(4 5)						
	精神・認知機能能力評価学	①			(3 0)	(3 0)						
	精神・認知機能能力評価学実習	①			(4 5)	(4 5)						
作業 療法 治療 学	身体障害作業療法学総論	①			(3 0)	(3 0)						
	身体障害作業療法学各論	①					(3 0)	(3 0)				
	身体障害作業療法学演習	①					(3 0)	(3 0)				
	老年期障害作業療法学	①					(3 0)	(3 0)				
	老年期障害作業療法学演習	①					(3 0)	(3 0)				
	発達障害作業療法学総論	①			(3 0)	(3 0)						
	発達障害作業療法学各論	①					(3 0)	(3 0)				
	発達障害作業療法学演習	①					(3 0)	(3 0)				
	精神障害作業療法学総論	①			(3 0)	(3 0)						
	精神障害作業療法学各論	①					(3 0)	(3 0)				
	精神障害作業療法学演習	①					(3 0)	(3 0)				
	認知症作業療法学	①			(3 0)	(3 0)						



				0)	0)					
	高次脳機能障害作業療法学	①				(30)	(30)			
	義肢装具学	①				(30)	(30)			
	義肢装具学演習	①				(30)	(30)			
	日常生活活動学	①			(30)	(30)				
	日常生活活動学実習	①			(45)	(45)				
	住環境整備論	①				(30)	(30)			
	住環境整備論実習	①				(45)	(45)			
	福祉機器適用論	①				(30)	(30)			
	福祉機器適用論実習	①				(45)	(45)			
	就労支援技術学	①				(30)	(30)			
	就労支援技術学実習	①				(45)	(45)			
地域 作業 療法 学	地域作業療法学総論	①	(30)	(30)						
	地域作業療法学各論	①			(30)	(30)				
	地域作業療法学演習	①				(30)	(30)			
	心身障害児療育論	1				(30)	(30)			
	公衆衛生学	1	(30)	(30)						
	ヘルスプロモーション論	2			(30)	(30)				
臨床 実習	臨床見学実習	①	(45)	(45)						
	臨床体験実習	②			(9)	(9)				

					0)	0)					
		臨床推論実習	⑥				(27 0)	(27 0)			
		総合臨床実習	⑩						(72 0)	(72 0)	
		卒業研究	④						120		
専門 総合 分野	総合 技術	作業療法学演習	②						(6 0)	(6 0)	
		作業療法特別講義Ⅰ	1				(3 0)	(3 0)			
		作業療法特別講義Ⅱ	1				(3 0)	(3 0)			
		医療英語	②			(3 0)	(3 0)				
		専門職連携演習	1				(3 0)	(3 0)	(3 0)		

③ 言語聴覚療法学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を( )で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門 基礎 分野	チュートリアル	①	30									
	医学概論	②	(3 0)	(3 0)								
	解剖学	②	(3 0)	(3 0)								
	生理学	②	(3 0)	(3 0)								
	生理学演習	①			(3 0)	(3 0)						
	病理学概論	2	(3 0)	(3 0)								
	人間発達学	2	(3	(3								

			0)	0)									
	公衆衛生学	1	(3 0)	(3 0)									
臨床 医学 およ び歯 科学	リハビリテーション 精神医学	②			(3 0)	(3 0)							
	小児科学	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 医学	①			(3 0)	(3 0)							
	内科学概論	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 脳神経学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 脳神経学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)							
	耳鼻咽喉科学	①			(3 0)	(3 0)							
	形成外科学	①			(3 0)	(3 0)							
	歯科口腔外科学	①			(3 0)	(3 0)							
	救急医学	2			(3 0)	(3 0)							
音声 言語 聴覚 医学	脳神経機能評価学	①			(3 0)	(3 0)							
	音声言語聴覚医学	②			(3 0)	(3 0)							
	言語理論と言語心理 Ⅰ	①	(3 0)	(3 0)									
	言語理論と言語心理 Ⅱ	①	(3 0)	(3 0)									
	音声学	②	(3 0)	(3 0)									
	音声・聴覚情報処理	①	(3 0)	(3 0)									
	音響・聴覚心理学	②	(3 0)	(3 0)									
言語発達学	①	(3	(3										

			0)	0)								
心理学	カウンセリング	2					(3 0)	(3 0)				
	臨床心理学	②	(3 0)	(3 0)								
	発達心理学	②	(3 0)	(3 0)								
	学習心理学	2			(3 0)	(3 0)						
	認知心理学	2			(3 0)	(3 0)						
	心理測定法	②					(3 0)	(3 0)				
	音楽療法概論	1							(3 0)	(3 0)		
	拡大・代替コミュニケーション論	1							(3 0)	(3 0)		
社会福祉・教育	リハビリテーション概論	②	(3 0)	(3 0)								
	地域リハビリテーション論	1			(3 0)	(3 0)						
	言語聴覚管理運営学(関係法規含む)	②	(3 0)	(3 0)								
	保健医療福祉論	2			(3 0)	(3 0)						
	生命倫理	2	(3 0)	(3 0)								
	老年医学	2			(3 0)	(3 0)						
	生活環境科学	2			(3 0)	(3 0)						
	ヘルスプロモーション論	2			(3 0)	(3 0)						
専門分野	障害学総論	言語聴覚障害学概論	②			(3 0)	(3 0)					
		言語聴覚障害学診断法	②			(3 0)	(3 0)					
	高次脳機能障害学	1							(3 0)	(3 0)		

									0)	0)	
言語 発達 障害 学	発達系障害学概論Ⅰ	②			(3 0)	(3 0)					
	発達系障害学概論Ⅱ	②					(3 0)	(3 0)			
	発達系障害学演習Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)					
	発達系障害学演習Ⅱ	①					(3 0)	(3 0)			
高次 脳機 能障 害学	認知系障害学概論Ⅰ	②			(3 0)	(3 0)					
	認知系障害学概論Ⅱ	②					(3 0)	(3 0)			
	認知系障害学演習Ⅰ	①					(3 0)	(3 0)			
	認知系障害学演習Ⅱ	①					(3 0)	(3 0)			
発声 発語 嚥下 障害 学	発声発語系障害学概論Ⅰ	②			(3 0)	(3 0)					
	発声発語系障害学概論Ⅱ	②					(3 0)	(3 0)			
	発声発語系障害学演習	①					(3 0)	(3 0)			
	嚥下系障害学概論Ⅰ	②			(3 0)	(3 0)					
	嚥下系障害学概論Ⅱ	②					(3 0)	(3 0)			
	嚥下系障害学演習	①					(3 0)	(3 0)			
聴覚 障害 学	聴覚系障害学概論Ⅰ	②			(3 0)	(3 0)					
	聴覚系障害学概論Ⅱ	②					(3 0)	(3 0)			
	聴覚系障害学演習Ⅰ	①					(3 0)	(3 0)			
	聴覚系障害学演習Ⅱ	②					(3 0)	(3 0)			
臨床	臨床見学実習	②			(9	(9					

	実習				0)	0)						
		臨床評価実習	⑧					(36 0)	(36 0)			
		総合臨床実習	⑥							(27 0)	(27 0)	
		コミュニケーション 科学研究法	②					(3 0)	(3 0)			
		グループダイナミク ス	①							(3 0)	(3 0)	
		卒業研究	④							120		
専門 総合 分野	総合 技術	言語聴覚学演習	②						(6 0)	(6 0)		
		言語聴覚特別講義Ⅰ	1					(3 0)	(3 0)			
		言語聴覚特別講義Ⅱ	1					(3 0)	(3 0)			
		医療英語	②			(3 0)	(3 0)					
		専門職連携演習	1					(3 0)	(3 0)	(3 0)		

ロ リハビリテーション支援学科

義肢装具学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を( )で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門 基礎 分野	チュートリアル	①	30									
	解剖学Ⅰ	②	(3 0)	(3 0)								
	解剖学Ⅱ	②	(3 0)	(3 0)								
	解剖学演習	①	(3 0)	(3 0)								

	機能解剖学	②			(3 0)	(3 0)						
	生理学	②			(3 0)	(3 0)						
	生理学演習	①			(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 運動学	②	(3 0)	(3 0)								
	リハビリテーション 運動学実習	①			(4 5)	(4 5)						
	人間発達学	2	(3 0)	(3 0)								
	病理学概論	2			(3 0)	(3 0)						
疾病 と障 害の 成り 立ち 及び 回復 過程 の促 進	内科学概論	①			(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 整形外科学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 整形外科学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 精神医学	②					(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 脳神経学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 脳神経学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)						
	公衆衛生学	①					(3 0)	(3 0)				
	社会参加と高齢者の 福祉	2	(3 0)	(3 0)								
保健 医療 福祉 とリ ハビ リテ ーシ ョ ン の 理 念	リハビリテーション 概論	②	(3 0)	(3 0)								
	認知行動科学	2					(3 0)	(3 0)				
	ボランティア論	①	(3 0)	(3 0)								
	介護概論	②			(3 0)	(3 0)						

		保健医療福祉論	2			(3 0)	(3 0)						
		高齢者福祉論	②					(3 0)	(3 0)				
		生命倫理	②	(3 0)	(3 0)								
		関係法規	①					(3 0)	(3 0)				
義肢 装具 領域 にお ける 工学		図学・製図学	②	(3 0)	(3 0)								
		機構学	②					(3 0)	(3 0)				
		情報処理演習	②			(6 0)	(6 0)						
		機械工学	②			(3 0)	(3 0)						
		制御工学	②					(3 0)	(3 0)				
		ユニバーサルデザイン	②					(3 0)	(3 0)				
		コンピュータプログラ ミング演習Ⅰ	①					(3 0)	(3 0)				
		コンピュータプログラ ミング演習Ⅱ	①					(3 0)	(3 0)				
		統計学演習	①					(3 0)	(3 0)				
専門 分野	基礎 義肢 装具 学	義肢装具学概論	②	(3 0)	(3 0)								
		義肢装具基礎工作論	②	(3 0)	(3 0)								
		義肢装具基礎工作実 習	①	(4 5)	(4 5)								
		義肢装具材料学	②			(3 0)	(3 0)						
		義肢装具材料力学	②			(3 0)	(3 0)						
		福祉用具支援論	②			(3 0)	(3 0)						



	福祉用具支援演習	①			(3 0)	(3 0)						
	理学療法概論	②			(3 0)	(3 0)						
	作業療法概論	②			(3 0)	(3 0)						
	運動機能計測学	②					(3 0)	(3 0)				
	運動機能計測学実習	①					(3 0)	(3 0)				
応用 義肢 装具 学	義肢Ⅰ(下腿義足)	②			(3 0)	(3 0)						
	義肢Ⅰ実習(下腿義足)	①			(4 5)	(4 5)						
	義肢Ⅱ(義手)	②					(3 0)	(3 0)				
	義肢Ⅱ実習(義手)	①					(4 5)	(4 5)				
	義肢Ⅲ(大腿義足)	②					(3 0)	(3 0)				
	義肢Ⅲ実習(大腿義足)	①					(4 5)	(4 5)				
	義肢Ⅳ(特殊義足)	2					(3 0)	(3 0)				
	義肢Ⅴ(股義足)	2					(3 0)	(3 0)				
	装具Ⅰ(下腿義足)	②			(3 0)	(3 0)						
	装具Ⅰ実習(下腿義足)	①			(4 5)	(4 5)						
	装具Ⅱ(体幹装具)	②					(3 0)	(3 0)				
	装具Ⅱ実習(体幹装具)	①					(4 5)	(4 5)				
	装具Ⅲ(上肢装具)	②					(3 0)	(3 0)				
装具Ⅲ実習(上肢装具)	①					(4 5)	(4 5)					

		装具Ⅳ(座位保持装置)	2					(30)	(30)			
		装具Ⅴ(特殊装具)	②					(30)	(30)			
		装具Ⅵ(靴形装具)	②					(30)	(30)			
		装具Ⅶ(車いす)	2					(30)	(30)			
臨床 実習		見学実習	①	(45)	(45)							
		臨床実習Ⅰ	①			(45)	(45)					
		臨床実習Ⅱ	③					(135)	(135)			
		臨床実習Ⅲ	④							(180)	(180)	
		卒業研究	④							120		
専門 総合 分野	総合 技術	義肢装具学演習	②							(30)	(30)	
		医療英語	②			(30)	(30)					
		専門職連携演習	1					(30)	(30)	(30)		

別表第2

先修科目

A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目(先修科目)の単位を前もって修得し、または同時に履修していなければならない。

[リハビリテーション学科]

①理学療法学専攻

A欄	B欄
臨床評価実習(3年次)	運動系機能能力評価学Ⅰ 運動系機能能力評価学実習Ⅰ 運動系機能能力評価学Ⅱ 運動系機能能力評価学実習Ⅱ

	神経系機能能力評価学 小児機能能力評価学
総合臨床実習(4年次)	臨床評価実習 運動療法学概論 運動療法学演習 物理療法学 義肢装具学 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学実習 運動系機能障害理学療法学 運動系機能障害理学療法学実習 小児神経系理学療法学 小児神経系理学療法学実習 成人神経系理学療法学Ⅰ 成人神経系理学療法学実習Ⅰ 成人神経系理学療法学Ⅱ 成人神経系理学療法学実習Ⅱ 生活技術学 生活技術学実習

②作業療法学専攻

A欄	B欄
臨床体験実習(2年次)	リハビリテーション概論 作業療法概論 地域作業療法学総論
臨床推論実習(3年次)	小児機能能力評価学 神経系機能能力評価学 運動系機能能力評価学 運動系機能能力評価学実習

	精神・認知機能能力評価学 精神・認知機能能力評価学実習 身体障害作業療法学総論 発達障害作業療法学総論 精神障害作業療法学総論 認知症作業療法学 日常生活活動学 日常生活活動学実習
総合臨床実習(4年次)	身体障害作業療法学各論 身体障害作業療法学演習 老年期障害作業療法学 老年期障害作業療法学演習 発達障害作業療法学各論 発達障害作業療法学演習 精神障害作業療法学各論 精神障害作業療法学演習 義肢装具学 住環境整備論 福祉機器適用論 就労支援技術学

③言語聴覚療法学専攻

A欄	B欄
臨床見学実習(2年次)	リハビリテーション概論 音声学 音響・聴覚心理学 言語発達学
臨床評価実習(3年次)	言語聴覚障害学概論 言語聴覚障害学診断法

	発達系障害学概論Ⅰ 発達系障害学演習Ⅰ 認知系障害学概論Ⅰ 発声発語系障害学概論Ⅰ 嚥下系障害学概論Ⅰ 聴覚系障害学概論Ⅰ
総合臨床実習(4年次)	発達系障害学概論Ⅱ 発達系障害学演習Ⅱ 認知系障害学概論Ⅱ 認知系障害学演習Ⅰ 認知系障害学演習Ⅱ 発声発語系障害学概論Ⅱ 発声発語系障害学演習 嚥下系障害学概論Ⅱ 嚥下系障害学演習 聴覚系障害学概論Ⅱ 聴覚系障害学演習Ⅰ 聴覚系障害学演習Ⅱ

[リハビリテーション支援学科]

義肢装具学専攻

A欄	B欄
臨床実習Ⅰ(2年次)	リハビリテーション概論 義肢装具学概論
臨床実習Ⅱ(3年次)	リハビリテーション整形外科学Ⅰ リハビリテーション整形外科学Ⅱ リハビリテーション脳神経学Ⅰ 義肢装具基礎工作論 義肢装具材料学 義肢装具材料力学

	義肢Ⅰ(下腿義足) 装具Ⅰ(下腿義足)
臨床実習Ⅲ(4年次)	臨床実習Ⅱ(同時履修不可) 関係法規 義肢Ⅱ(義手) 義肢Ⅲ(大腿義足) 義肢Ⅳ(特殊義足) 装具Ⅱ(体幹装具) 装具Ⅲ(上肢装具) 装具Ⅴ(特殊装具) 装具Ⅵ(靴形装具)